

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2005年（平成17年）6月25日号 No. 1332

目次

●モスクワ大停電の背景を探る	藤井 晴雄・坂口 泉 1
●エトセトラ	8
『調査月報』2005年7月号のご案内／8	
ロシア・ノーヴォスチ通信提供 経済・ビジネスレビュー／9	
●ロシア東欧貿易会関連の行事予定	9
●CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	9

モスクワ大停電の背景を探る

技術評論家 藤井 晴雄

ロシア東欧経済研究所 調査部次長 坂口 泉

はじめに

ロシアの首都モスクワで5月25日に大規模な停電が発生し、市内は大きな混乱に見舞われた。停電により証券取引所が取引を停止したほか、交通が乱れ、さらに通信にも障害が生じた。チェチェン独立派がテロの犯行声明を出す一幕もあったが、当局はすぐにそれを否定しており、変電所の火災と爆発によって起きた技術的な事故であったことが確認されている。石油高による好景気に沸くロシアであるが、今回の大停電により図らずも経済のアキレス腱を露呈する形となった。

そこで本誌では、技術評論家でロシアの電力事情に詳しい藤井晴雄氏（元(社)海外電力調査会）をお招きし、ロシアの電力設備の老朽化問題と更新の課題についてお話をうかがい、あわせてロシア向けの電力設備輸出の可能性などについてもご意見をお聞きした。以下、その模様をお届けする。聞き手は、ロシア東欧経済研究所の坂口泉次長である。